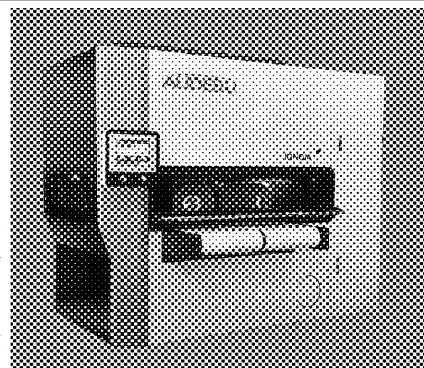


省エネバリ取り機

オーセン テック 吸着システム採用

【相模原】オーセン テック（相模原市南区、高田全社長）は、生産性と環境性能を両立したバリ取り機「AUDEBU IQNO IA（オーデブ・イクノイア）II写真」を発売した。新構造の吸着システムの採用などで消費電力を抑えつつ、小物から大型加工対象物（ワーク）まで幅広い加工に対応する。価格は消費税抜きで1700万円程度。今後3年間で120台の販売を目指す。

新吸着システムにより、空気の流量を減らしつつ吸引力を高めることが可能となり、消費電力を同社従来機比30%削減。新たな振動機構により、広い範囲でも安定加工を実現する。自動原点出し機能を標準装備し、研磨ブラシ装着時にブラシの種類を自動判定する。推奨条件を自動で読み込むため、段取り時間短縮できる。左右



のコンペヤーの駆動方向や速度を個別に設定できることで、異種ワークの同時加工や裏表面加工、一人作業などにも対応する。ブラ

シ回転軸はマグネットシステムを採用し、メンテナンス時の作業負荷も軽減する。

製品名は「品質を更に良くす

る、改善する」の意味を持つ「IQ」と、ギリシヤ語が語源で「美しい考え方」という意味の「NOIA」を組み合わせ